



平成30年10月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年9月11日

上場会社名 正栄食品工業株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 8079 URL http://www.shoeifoods.co.jp  
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)本多 市郎  
 問合せ先責任者 (役職名)専務取締役管理本部長 (氏名)藤雄 博周 (TEL)03(3253)1211  
 四半期報告書提出予定日 平成30年9月12日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年10月期第3四半期の連結業績(平成29年11月1日～平成30年7月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年10月期第3四半期	80,972	3.0	3,917	△14.6	3,994	△14.0	2,864	△7.1
29年10月期第3四半期	78,567	1.1	4,592	25.6	4,648	27.3	3,086	31.1

(注) 包括利益 30年10月期第3四半期 2,571百万円 (△35.0%) 29年10月期第3四半期 3,956百万円 (446.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年10月期第3四半期	168.52	—
29年10月期第3四半期	181.04	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年10月期第3四半期	70,772	38,328	53.0
29年10月期	66,252	36,985	54.6

(参考) 自己資本 30年10月期第3四半期 37,560百万円 29年10月期 36,232百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年10月期	—	15.00	—	25.00	40.00
30年10月期	—	23.00	—	—	—
30年10月期(予想)	—	—	—	23.00	46.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年10月期の連結業績予想(平成29年11月1日～平成30年10月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	106,500	3.0	4,900	△9.5	5,000	△8.4	3,550	△3.4	208.20

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

30年10月期3Q	17,100,000株	29年10月期	21,159,914株
② 期末自己株式数	150,469株	29年10月期	4,110,185株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	16,999,614株	29年10月期3Q	17,050,208株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
3. 四半期連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

(単位：百万円)

	前連結累計期間 (自 平成28年11月1日 至 平成29年7月31日)	当連結累計期間 (自 平成29年11月1日 至 平成30年7月31日)	増減率
売上高	78,567	80,972	3.0%
営業利益	4,592	3,917	△14.6%
経常利益	4,648	3,994	△14.0%
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,086	2,864	△7.1%

当第3四半期連結累計期間のわが国経済は、米国を中心とした海外景気の拡大や、堅調な輸出を背景に企業業績は好調に推移し、雇用・所得環境の改善から景気は緩やかな回復基調にありました。

食品業界においては、豪雨、猛暑、台風といった天候要因から季節商品の嗜好が変化するなど、一部に個人消費の伸び悩みが見られました。

このような状況にあって当社グループは、近年、米国・中国の海外現地法人の事業拡大と、世界二十数ヶ国から輸入する加工食品や農産物等の仕入調達力の強化に努めてまいりましたが、EPA / FTA等の経済連携交渉の行方や関税措置など、今後も市場変化に対応した事業活動に取り組んでまいります。

売上面については、堅調な乳製品需要と国内の生乳生産量の減少から、海外乳製品の売上が大幅に伸長しましたが、栗製品などの製菓原材料類や中国産シード類、また、B to C向けの菓子類が前年実績を下回ったことから、当第3四半期連結累計期間の売上高は、前年同期比3.0%増の809億72百万円となりました。

利益面は、乾果実類や菓子類の原価率の上昇や、日本国内での運送費等の販売費が増加したことから、営業利益は前年同期比14.6%減の39億17百万円、経常利益は14.0%減の39億94百万円となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同期比7.1%減の28億64百万円となりました。

当第3四半期連結累計期間の品目別の業績は次の通りであります。

(単位：百万円)

	前連結累計期間 (自 平成28年11月1日 至 平成29年7月31日)		当連結累計期間 (自 平成29年11月1日 至 平成30年7月31日)		前期比	
	売上高	構成比	売上高	構成比	増減額	増減率
乳製品・油脂類	21,913	27.9%	25,809	31.9%	3,895	17.7%
製菓原材料類	12,884	16.4%	12,438	15.4%	△446	△3.4%
乾果実・缶詰類	30,010	38.2%	29,367	36.2%	△643	△2.1%
菓子・リテール商品類	13,481	17.2%	13,094	16.2%	△387	△2.8%
その他	277	0.3%	263	0.3%	△13	△4.8%
合計	78,567	100.0%	80,972	100.0%	2,405	3.0%

所在地別セグメントの業績は次のとおりであります。

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額(注) 2
	日本	米国	中国	計		
売上高	70,869	15,660	7,169	93,700	△12,727	80,972
セグメント利益	3,353	721	121	4,196	△279	3,917

(注) 1. セグメント利益の調整額△279百万円には、セグメント間消去18百万円、全社費用△297百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

① 日本

日本国内の売上高は、健康志向や機能性を重視した商品が拡大する中、乳製品やドライフルーツ・ナッツ類の国内需要は引き続き堅調に推移しましたが、一部、三国間貿易による中国産シード類の輸出が減少となり、また、西日本を中心とした豪雨や全国的猛暑に起因した異例続きの天候等から、製菓原材料類やチョコレート菓子が販売減となり、これらの結果、当地域の売上高は、前年同期比3.1%増の708億69百万円となりました。

セグメント利益は、主に菓子事業における生産工場の操業度低下や、修繕費や新規の工場用消耗品の購入など、製品製造原価の上昇等から前年同期比11.7%減の33億53百万円となりました。

② 米国

当地域の売上高は、主力のクルミ・プルーン事業が前年実績を上回り、その他の米国産農産物の輸出も概ね堅調に推移したことから、売上高は前年同期比8.5%増の156億60百万円となりました。

セグメント利益は、インデント取引の増加や農園収益が改善基調にあったものの、クルミ事業における原料の受入数量の減少や購買価格の上昇等から、前年同期比12.7%減の7億21百万円となりました。

③ 中国

当地域の売上高は、米中による貿易摩擦がエスカレートする中、米国産農産物への関税措置やフルーツ加工品等の輸出減少から、売上高は前年同期比11.2%減の71億69百万円となりました。

セグメント利益は、関税引き上げに伴う輸入コストの上昇や生産子会社の操業度の低下等から、前年同期比56.0%減の1億21百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債及び純資産の状況)

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ45億20百万円増加し、707億72百万円となりました。その主な要因は、流動資産については、「現金及び預金」が36億35百万円、「繰延税金資産」が2億56百万円それぞれ減少したものの、「受取手形及び売掛金」が1億3百万円、「商品及び製品」が45億31百万円、「仕掛品」が3億84百万円、「原材料及び貯蔵品」が2億39百万円それぞれ増加したことから、前連結会計年度末に比べ16億84百万円増加し、462億28百万円となりました。固定資産は、有形固定資産が27億88百万円、投資その他の資産が52百万円それぞれ増加したことから、前連結会計年度末に比べ28億35百万円増加し、245億44百万円となりました。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ31億77百万円増加し、324億44百万円となりました。その主な要因は、流動負債については、「1年内返済予定の長期借入金」が3億9百万円、「未払法人税等」が7億71百万円、「賞与引当金」が4億69百万円それぞれ減少したものの、「短期借入金」が40億33百万円、「未払金」が1億28百万円それぞれ増加したことから、前連結会計年度末に比べ25億58百万円増加し、256億円となりました。固定負債は、「繰延税金負債」が1億91百万円減少したものの、「長期借入金」が8億21百万円増加したことから、前連結会計年度末に比べ6億18百万円増加し、68億43百万円となりました。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ13億42百万円増加し、383億28百万円となりました。その主な要因は、「利益剰余金」が16億9百万円減少したものの、「自己株式」が32億53百万円減少したことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループは、当第3四半期連結累計期間の業績や現時点での当社を取り巻く経営環境などを勘案した結果、平成29年12月13日に公表いたしました平成30年10月期通期連結業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日公表の「通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

(持分法適用の範囲の変更)

該当事項はありません。

(四半期連結損益計算書関係)

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年10月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年7月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	8,009,421	4,373,821
受取手形及び売掛金	19,361,932	19,465,613
商品及び製品	12,776,683	17,307,972
仕掛品	603,067	987,800
原材料及び貯蔵品	1,945,770	2,185,352
前渡金	310,751	393,464
繰延税金資産	632,241	375,244
その他	909,390	1,143,528
貸倒引当金	△5,293	△4,387
流動資産合計	44,543,967	46,228,410
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	7,503,226	8,688,802
機械装置及び運搬具(純額)	4,308,205	5,103,942
工具、器具及び備品(純額)	241,377	232,898
土地	2,436,149	3,543,354
リース資産(純額)	145,675	111,524
建設仮勘定	1,836,913	1,588,258
その他(純額)	195,578	187,079
有形固定資産合計	16,667,125	19,455,858
無形固定資産		
ソフトウェア	51,187	51,144
その他	146,203	141,072
無形固定資産合計	197,391	192,217
投資その他の資産		
投資有価証券	4,130,207	3,947,731
保険掛金	224,700	166,715
繰延税金資産	36,135	37,083
その他	505,422	806,665
貸倒引当金	△52,214	△61,851
投資その他の資産合計	4,844,251	4,896,344
固定資産合計	21,708,767	24,544,420
資産合計	66,252,734	70,772,831



(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年10月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年7月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,840,864	9,829,947
短期借入金	7,893,364	11,927,098
1年内返済予定の長期借入金	784,140	474,940
未払金	1,587,203	1,715,333
未払法人税等	904,910	133,485
賞与引当金	886,700	416,747
役員賞与引当金	12,810	8,325
その他	1,131,767	1,094,813
流動負債合計	23,041,760	25,600,690
固定負債		
長期借入金	4,098,384	4,919,479
退職給付に係る負債	610,765	633,174
役員退職慰労引当金	300,530	296,597
繰延税金負債	1,024,031	832,220
その他	191,602	162,422
固定負債合計	6,225,314	6,843,894
負債合計	29,267,074	32,444,585
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,379,736	3,379,736
資本剰余金	3,042,770	3,042,771
利益剰余金	30,603,842	28,994,664
自己株式	△3,703,397	△450,182
株主資本合計	33,322,952	34,966,991
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,988,056	1,859,369
繰延ヘッジ損益	38,668	18,685
為替換算調整勘定	882,916	715,175
その他の包括利益累計額合計	2,909,641	2,593,230
非支配株主持分	753,066	768,024
純資産合計	36,985,660	38,328,245
負債純資産合計	66,252,734	70,772,831

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年11月1日 至平成29年7月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年11月1日 至平成30年7月31日)
売上高	78,567,533	80,972,604
売上原価	65,598,120	68,437,107
売上総利益	12,969,412	12,535,496
販売費及び一般管理費	8,377,147	8,617,787
営業利益	4,592,264	3,917,709
営業外収益		
受取利息	3,631	3,633
受取配当金	56,252	58,612
持分法による投資利益	32,408	24,238
保険配当金	36,658	16,372
受取保険金	30,369	62,688
その他	58,428	88,700
営業外収益合計	217,748	254,244
営業外費用		
支払利息	111,944	130,160
為替差損	38,727	37,075
支払補償費	8,976	—
その他	1,741	10,695
営業外費用合計	161,390	177,930
経常利益	4,648,622	3,994,023
特別利益		
固定資産売却益	537	3,718
投資有価証券売却益	—	5,100
特別利益合計	537	8,818
特別損失		
固定資産除却損	9,135	12,354
固定資産売却損	—	3,633
特別損失合計	9,135	15,987
税金等調整前四半期純利益	4,640,024	3,986,854
法人税、住民税及び事業税	1,327,926	965,767
法人税等調整額	202,284	132,796
法人税等合計	1,530,210	1,098,564
四半期純利益	3,109,813	2,888,289
非支配株主に帰属する四半期純利益	23,000	23,402
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,086,813	2,864,887

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年11月1日 至平成29年7月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年11月1日 至平成30年7月31日)
四半期純利益	3,109,813	2,888,289
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	89,262	△129,030
繰延ヘッジ損益	17,503	△19,982
為替換算調整勘定	740,007	△167,741
その他の包括利益合計	846,773	△316,754
四半期包括利益	3,956,586	2,571,535
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,926,580	2,548,476
非支配株主に係る四半期包括利益	30,006	23,059

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成29年12月13日開催の取締役会決議に基づき、平成29年12月26日付で、自己株式4,059,914株の消却を実施しております。また、平成30年3月13日開催の取締役会決議に基づき、平成30年3月14日付で、自己株式100,000株の取得を実施しております。これにより、当第3四半期連結累計期間において利益剰余金が3,657,943千円、自己株式が3,253,943千円それぞれ減少しました。

この結果、当第3四半期連結会計期間末において利益剰余金が28,994,664千円、自己株式が450,182千円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成28年11月1日至平成29年7月31日)  
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額(注) 2
	日本	米国	中国	計		
売上高						
外部顧客への売上高	68,179,241	5,728,781	4,659,510	78,567,533	—	78,567,533
セグメント間の 内部売上高又は振替高	495,280	8,693,319	3,422,476	12,611,076	△12,611,076	—
計	68,674,522	14,422,100	8,081,986	91,178,610	△12,611,076	78,567,533
セグメント利益	3,799,931	827,889	275,961	4,903,782	△311,518	4,592,264

(注) 1. セグメント利益の調整額△311,518千円には、セグメント間消去△44,428千円、全社費用△267,090千円が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成29年11月1日至平成30年7月31日)  
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額(注) 2
	日本	米国	中国	計		
売上高						
外部顧客への売上高	70,295,092	5,695,556	4,981,956	80,972,604	—	80,972,604
セグメント間の 内部売上高又は振替高	574,796	9,964,692	2,188,035	12,727,525	△12,727,525	—
計	70,869,888	15,660,249	7,169,991	93,700,129	△12,727,525	80,972,604
セグメント利益	3,353,758	721,964	121,189	4,196,912	△279,202	3,917,709

(注) 1. セグメント利益の調整額△279,202千円には、セグメント間消去18,359千円、全社費用△297,561千円が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。